

令和7年度入学者選抜について

長崎女子短期大学

1. 入学者選抜の基本方針

- (1) 本学及び各学科・コースの入学者受入れの方針に賛同し、かつ本学の教育課程を履修し、卒業に必要な単位の修得が期待できる者を、募集要項及び各選抜ごとに定めた実施要領により選抜する。
- (2) 入学者の選抜は、高等学校等から提出された調査書等の資料、志願者から提出された志望理由書等の書類、面接（面談）及び学科試験または小論文の結果を、募集要項に示した入試区分別の評価の観点及び評価割合に従い、総合的に評価して行う。
- (3) 学校推薦型選抜（指定校・一般）、総合型選抜及び一般選抜においては、「学力の3要素」（「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）を多面的・総合的に評価することを基本とする。

2. 学力検査の内容・合否判定の方法及び基準

| 入試区分 | 学力検査等の内容 | 合否判定の方法及び基準 |
|----------------------|--|--|
| 学校推薦型選抜（指定校） | 口頭試問を含む面接 | ①調査書・推薦書（30％）、志望理由書（20％）、口頭試問を含む面接（50％）で評価 ②面接は「学習意欲・規律性」、「主体性・協働性」、「知識・技能」、「情報活用能力・課題解決力」、「言語活用能力・コミュニケーション力」の5項目を50点満点で評価 |
| 学校推薦型選抜（一般） | 口頭試問を含む面接 小論文 | ①調査書・推薦書（30％）、志望理由書（20％）、口頭試問を含む面接（40％）、小論文（10％）で評価 ②面接は「学習意欲・規律性」、「主体性・協働性」、「知識・技能」、「情報活用能力・課題解決力」、「言語活用能力・コミュニケーション力」の5項目を50点満点で評価 ③小論文は600字以内で100点満点で評価 |
| 総合型選抜（1期～3期） | 自己アピール及び口頭試問を含む面談 | ①調査書（10％）、エントリーシート（30％）、自己アピール及び口頭試問を含む面談（60％）で評価 ②面接は「学習意欲・規律性」、「主体性・協働性」、「知識・技能」、「情報活用能力・課題解決力」、「言語活用能力・コミュニケーション力」の5項目を50点満点で評価 |
| 一般選抜1期 | 古文・漢文を除く「現代の国語」「言語文化」及び「数学Ⅰ」又は「英語コミュニケーションⅠ」（リスニングを除く） | ①調査書（10％）、面接（30％）、学科試験（60％）で評価 ②学科試験は1科目100点×2科目＝200点で評価 ③面接は「学習意欲・規律性」、「主体性・協働性」、「知識・技能」、「情報活用能力・課題解決力」、「言語活用能力・コミュニケーション力」の5項目を50点満点で評価 |
| 一般選抜2期 | 総合問題（国語・公民・情報等を統合して学力を判断する総合的な記述式問題） | ①調査書（10％）、面接（30％）、総合問題（60％）で評価 ②総合問題は100点満点で評価 ③面接は「学習意欲・規律性」、「主体性・協働性」、「知識・技能」、「情報活用能力・課題解決力」、「言語活用能力・コミュニケーション力」の5項目を50点満点で評価 |
| 大学入学共通テスト利用選抜（1期・2期） | 令和7年度大学入学共通テストで受験した高得点科目の2教科2科目 | ①調査書（20％）、大学入学共通テスト（80％）で評価 ②左記の2教科2科目を各科目100点満点（200点の科目は100点満点に換算）、計200点とする。 |

| | | |
|-------|----|---|
| 社会人選抜 | 面接 | ①出願理由書（３０％）、面接（７０％）で評価 ②面接は学校推薦型選抜に準じて実施し、評価 |
|-------|----|---|

３．試験問題に関する情報

| 入試区分 | 試験内容 | 試験問題・解答例 | 出題の意図 |
|----------------------|---------------------------------|----------|---|
| 学校推薦型選抜（指定校） | 口頭試問を含む面接 | | 下記４（１）参照 |
| 学校推薦型選抜（一般） | 口頭試問を含む面接 | | 下記４（１）参照 |
| | 小論文 | | 下記５参照 |
| 総合型選抜（１期～３期） | 自己アピール及び口頭試問を含む面談 | | 下記４（２）参照 |
| 一般選抜１期 | 学科試験① 国語 学科試験② 英語または数学 | | 【国語】一般常識程度の語句の読み、書き取り、四字熟語、反義語、文学史の知識を問う。また長めの文章からテーマを正しく読み取り、整理してまとめる力、自分の見解を述べる力を問う。 【英語】ほぼ英語Ⅰレベルで読解・解答できる問題で構成しているが、語彙レベルを少し上げている。発音、アクセント問題には入試頻出問題を使用した。 【数学】数学Ⅰレベルでの基礎的な理解度及び論理的思考力を評価する。 |
| | 面接 | | 下記４（３）参照 |
| 一般選抜２期 | 総合問題 | | 下記６参照 |
| | 面接 | | 下記４（３）参照 |
| 大学入学共通テスト利用選抜（１期・２期） | 令和７年度大学入学共通テストで受験した高得点科目の２教科２科目 | | |
| 社会人選抜 | 面接 | | 下記４（３）参照 |

４．学校推薦型選抜等における面接（面談）の出題の意図

（１）学校推薦型選抜（指定校・一般）

- ①質問内容は本学の入学者受入れの方針を踏まえるとともに、面接評価の観点（５項目）に対応した質問内容とした。
- ②知識・技能に関する質問では、高等学校までの基礎学力及び本学進学後に求められる知識を有しているかを評価する内容とした。

- ③情報活用能力・課題解決力に関する質問では、提示された資料（グラフ等）を読み取るとともに、面接官の質問に対し、自らの考えや意見を述べることを評価する内容とした。

（２）総合型選抜

- ①「志望理由書」の内容を確認することにより、志望動機や本学への進学意欲を確認した。
- ②質問内容は本学の入学者受入れの方針を踏まえるとともに、面接評価の観点（５項目）に対応した質問内容とした。
- ③知識・技能に関する質問では、高等学校までの基礎学力及び本学進学後に求められる知識を有しているかを評価する内容とした。
- ④情報活用能力・課題解決力に関する質問では、提示された資料（グラフ等）を読み取るとともに、面接官の質問に対し、自らの考えや意見を述べることを評価する内容とした。

（３）一般選抜・社会人選抜

- ①質問内容は本学の入学者受入れの方針を踏まえるとともに、学校推薦型選抜に準じて面接評価の観点（５項目）に対応した質問内容とした。
- ②社会人選抜では、「社会人選抜出願理由書・履歴書」をもとに質問を行い、進学意欲を重視した。

５．学校推薦型選抜（一般）における小論文の出題の意図

- （１）長崎県が作成した「長崎県の人口推移、将来推計」から抜粋したグラフから出題し、下の問いに的確に解答できるかを見るための問題とした。

（２）質問内容

- ①「年少人口」の人口推移予測から、予想される社会の変化を述べる。
- ②①を受け、自らの将来の進路について留意すべき点について述べる。

６．一般選抜（２期）における総合問題の出題の意図

- （１）国の食料・農業・農村政策審議会の基本法検証部会で配布された資料を提示し、その資料を読み取り、質問に的確に回答できるかを見るための問題とした。

（２）問題内容

- ①資料を読み取り、解答する問題（２問）
- ②資料を読み取り、ある課題に対し、理由を付して提案する問題（３問）

７．合理的配慮の提供に関する対応方法

（１）障がい等のある入学志願者との事前相談（募集要項より抜粋）

障がい等のある入学志願者で、受験上の配慮を必要とする者は、出願期間開始２週間前までに「受験上の配慮申請書」（本学 Web サイトよりダウンロード）を本学入試広報室に郵送または持参にて提出し、相談すること。入学者選抜において事前相談の内容によって受験者が不利益を被ることはない。

なお、必要な場合は、本学において志願者またはその立場を代弁する出身高等学校関係者等との面談等を行うことがあるので留意すること。事前に相談がない場合は配慮が認められないこともあるので併せて留意すること。

（２）障がい等のある志願者に対し、本学が過去に実施した対応例

① 場面緘黙の志願者に対する面接

口頭で応答できない志願者に対し、ホワイトボードを準備し、そのホワイトボードに発言内容や解答を書かせた。その場合、他の志願者よりも面接時間を多く確保した。

② 難聴の志願者に対する対応

面接においては、面接の順番を１番にし、予定時刻よりも早めを実施し、他の志願者よりも時間を多く確保した。控室においては、監督者の指示が聞こえやすいように前列に配置した。